

IMS グループ 広報誌 プラザイムス

# IMS Miyoshi

イムス三芳総合病院広報誌 愛し愛されるIMS

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内や IMS グループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

## 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

私がイムス三芳総合病院院長に赴任してから4度目のお正月を迎えました。地域の皆様、地域医療機関等の関係者の皆様には、旧年中も当院をご利用いただき大変ありがとうございました。

イムス三芳総合病院  
院長 田和良行

当院は昭和52年5月に、IMSグループの三芳厚生病院として開設され、平成19年11月に現在のイムス三芳総合病院に改称。そして平成25年3月に当地に新築移転となった40年以上の歴史のある病院です。当初より地域医療に重点を置いていましたが、移転新築後はその中でも急性期医療に注力して、徐々にその効果が表れてきています。

平成30年2月には、一般病床25床、HCU(ハイケアユニット)病床10床の増床工事も終了し、総ベッド数273床の、さらに高度な医療を提供できる体制となりました。新しい医師の招聘を積極的に行い、さらに7月17日より当院脳神経外科が、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク(SSN)の基幹病院指定を受けることが出来、地域の脳卒中治療に貢献することができています。さらに昨年は、グループ病院から卒後臨床研修医の受け入れも多くなり、将来の医療のための教育にも力を注いでいます。

今年は平成最後の年。昭和から始まり、平成の時代においても、地域の皆さまに大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

本年から、新しい時代が始まります。今後ともイムス三芳総合病院を宜しく願っています。

平成31年元旦

# 冬に罹りやすい 3つの感染症

冬は体調を崩す方が多いのではないのでしょうか。  
そこで、本紙では、冬に増える感染症「インフルエンザ感染症」  
「感染性胃腸炎」「RSウイルス」、の3つについて、主な感染経路、  
症状をお伝えします。  
また、感染症は、手洗いで予防ができることがわかっています。  
正しい手洗いで、感染症を防ぎ、冬をのりきりましょう。

## 1.インフルエンザ感染症

主な感染経路：多くは飛沫感染と接触感染  
主な症状：突然の高熱（38℃以上）、頭痛、  
筋肉痛、関節痛、喉の痛み、鼻水、  
嘔吐、下痢など  
特徴：高齢者は肺炎、小児は肺炎や脳炎  
を併発し致命傷になる事もある

## 2.感染性胃腸炎

### ノロウイルス

主な感染経路：多くは飛沫感染と接触感染  
主な症状：吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、  
微熱（38℃以下）など  
特徴：高齢者や乳幼児などは  
重症化する事がある

### ロタウイルス

主な感染経路：多くは飛沫感染と接触感染  
主な症状：嘔吐、下痢、腹痛、  
高熱（38℃以上）など  
特徴：乳幼児に多く発症する  
大人は軽度で済む事が多い

## 3.RSウイルス

主な感染経路：飛沫感染、接触感染  
主な症状：発熱、鼻水、など。重症化すると  
喘鳴、呼吸困難が現れる事もある  
特徴：乳幼児に多く発症する

## 正しい手洗い手順



①手を流水で濡らす

②石鹸液を適量  
とる



③手のひらを  
擦り合わせ、  
よく泡立てる

④両手の指の間を  
擦り合わせる



⑤手の甲をもう片方の  
手のひらで擦る  
（両手）

⑥指先でもう片方  
の手のひらを  
擦る（両手）



⑦親指をもう片方の  
手で包んで擦る  
（両手）

⑧両手首まで  
丁寧に擦る



⑨流水でよくすすぐ

⑩ペーパー  
タオルで  
よく水気を取る



※飛沫感染：咳やくしゃみなどに含まれる  
病原微生物によって感染する事  
※接触感染：皮膚や粘膜の直接的な接触によって感染する事